

JVA REPORT

4

'09 APRIL
NO.133

MAIN REPORTS

2008年(1月~12月)統計調査報告

『ショップコンテスト2008』結果発表と表彰式について

SCIENCE FICTIONS

LOVE STORY

EDUCATION

ANIMATION

ACTION

KIDS

MUSICAL

CONCERT

HOW-TO

TV SHOW

社団法人 **日本映像ソフト協会 会報**



2008年(1月～12月)統計調査報告	2
『ショップコンテスト2008』結果発表と表彰式について	6
文化庁の意見募集に対し意見書を提出	9
著作権法改正案が衆議院へ	10
BBマルチメディア委員会活動報告	10
不正商品対策協議会	10
第280、281回定例理事会開催報告	11
違法対策部会活動報告	11
新入会員社自社紹介	12
JVA懇親ゴルフコンペ開催のご案内	12
経済産業省からのお願い	12
異動	12
リレーエッセイ⑦	13
月間売上速報(2008年12月、2009年1月、2月)	14
日誌に見る協会の動き	14

2008年(1月～12月)統計調査報告 ブルーレイの調査を開始、売上構成比3.4%。

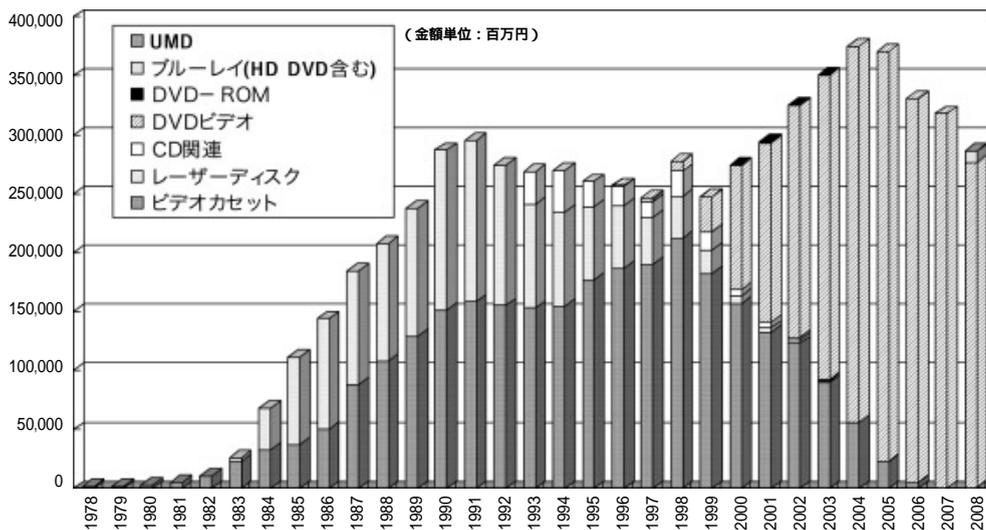
統計調査委員会では、2008年1月～12月のメーカー出荷統計を「報告書Vol.67」にまとめ、3月10日(火)に記者発表会を開催、同結果について発表した。以下に同報告の概要について掲載する。なお、同委員会の委員長が上田武二郎氏から木村康詩氏(株式会社ポニーキャニオン営業本部レンタル営業部部長)に交替した。

< 本年調査からの変更点 >

本年の統計調査から新たにブルーレイ(HD DVDを含む)とUMD(プレイステーションポータブル用ソフト)の実績を加算し発表している。前年比については、未発表であった前年のこれらのメディアの実績を用いて計算している。

ジャンル別にも変更を加え、これまでの『洋画(TVドラマを除く)』から韓国・中国・台湾・香港のものを独立させ『アジアの映画』としている。またそれになら

グラフ1. ビデオソフトの売上金額の推移



らい『海外のTVドラマ』から『アジアのTVドラマ』を独立させている。本年のDVDビデオのジャンル分け調査結果については、これまでのジャンルと比較するために『洋画』と『アジアの映画』を加算した数値、『海外のTVドラマ』と『アジアのTVドラマ』を加算した数値について別欄を設けて表記している。

表1. 統計調査(1978年から2008年)の売上金額の推移

(金額単位: 百万円)

年	回答数	関連事業の総売上	前年比	ソフトの小計	前年比	ビデオカセット	前年比	レーザーディスク	前年比	CD関連	前年比	DVDビデオ	前年比	DVD-ROM	前年比	ブルーレイ(HD DVD含)	前年比	UMD	前年比
1978	18 / 17	4,572	152.1%	2,049		2,049	102.8%												
1979	21 / 17	5,557	121.5%	2,166	105.7%	2,166	105.7%												
1980	14 / 18	7,052	126.9%	2,967	137.0%	2,967	137.0%												
1981	25 / 28	10,374	147.1%	5,273	177.7%	5,273	177.7%												
1982	33 / 31	19,313	186.2%	10,935	207.4%	10,935	207.4%												
1983	33 / 33	38,981	201.8%	26,462	242.0%	22,516	206.0%	3,946											
1984	30 / 31	82,910	212.7%	68,384	258.4%	32,669	145.1%	35,715	905.0%										
1985	40 / 46	129,891	156.7%	111,575	163.2%	37,364	114.4%	74,211	207.8%										
1986	50 / 50	163,714	126.0%	143,971	129.0%	50,427	135.0%	93,544	126.1%										
1987	51 / 52	205,017	125.2%	184,606	128.2%	87,739	174.0%	96,867	103.6%										
1988	52 / 54	229,133	111.8%	208,181	112.8%	107,815	122.9%	100,366	103.6%										
1989	56 / 53	260,807	113.8%	237,277	114.0%	129,507	120.1%	107,770	107.4%										
1990	50 / 51	309,063	118.5%	286,954	120.9%	151,304	116.8%	135,650	125.9%										
1991	50 / 51	316,410	102.4%	295,006	102.8%	158,447	104.7%	136,559	100.7%										
1992	49 / 47	291,986	92.3%	274,047	92.9%	155,150	97.9%	118,897	87.1%										
1993	48 / 47	277,716	95.1%	268,733	98.1%	152,987	98.6%	87,826	73.9%	27,920									
1994	43 / 39	279,065	100.5%	270,177	100.5%	154,822	101.2%	79,648	90.7%	35,707	127.9%								
1995	39 / 38	268,329	96.2%	260,384	96.4%	177,015	114.3%	61,727	77.5%	21,642	60.6%								
1996	39 / 40	263,934	98.4%	257,023	98.7%	186,847	105.6%	53,039	85.9%	16,789	77.6%	348							
1997	38 / 37	252,176	95.6%	246,483	95.9%	190,271	101.8%	39,928	75.3%	13,387	79.7%	2,897	832.5%						
1998	37 / 37	281,345	111.6%	277,154	112.4%	212,078	111.5%	35,868	89.8%	21,211	158.4%	7,997	276.0%						
1999	36 / 35	250,869	89.2%	247,557	89.3%	182,376	86.0%	19,592	54.6%	15,347	72.4%	30,242	378.2%						
2000	37 / 36	275,702	109.9%	274,421	110.9%	156,576	85.9%	6,632	33.9%	6,187	40.3%	104,713	346.3%	313					
2001	37 / 36			294,001	107.1%	132,554	84.7%	3,802	57.3%	4,730	76.5%	151,887	145.1%	1,028	328.4%				
2002	37 / 34			324,835	110.5%	122,935	92.7%	3,157	83.0%	1,549	32.7%	197,288	129.9%	-94	ERR				
2003	35 / 33			350,633	107.9%	89,832	73.1%	1,632	51.7%	1,224	79.0%	257,787	130.7%	158	ERR				
2004	33 / 32			375,393	108.0%	55,631	61.9%					319,762	124.0%						
2005	32 / 34			370,860	98.8%	23,153	41.6%					347,707	108.7%						
2006	33 / 33			330,802	89.2%	5,522	23.9%					325,280	93.6%						
2007	33 / 34			318,024	96.1%	777	14.1%					317,247	97.5%						
2008	34 / 33			286,098	96.1%	258	33.2%					275,727	86.9%			9,860	301.5%	253	59.1%

回答数の左辺は上期、右辺は下期の回答社数。1990年より洋画系メジャー系の社の数字を含む。2001年よりビデオソフトの著作権収入等の「その他」の調査を削除したため、関連事業の総売上値はない。CD関連とは、CD-G、CD-ROM、CD-I等、主にカラオケなどのコンテンツが記録されたCD規格のもの。ここにあるDVD-ROMとは、主にプレイステーション2などのゲーム機対応のソフト。UMDとは、プレイステーションポータブル用のソフト。2004年より2007年までは調査対象をビデオカセットとDVDビデオのみとした。そのため2004年のソフトの小計の前年比は、前年のビデオカセットとDVDビデオの売上の合計と比較して求めている。2008年より調査対象にブルーレイ(HD DVDを含む)とUMDを加えた。そのためソフトの小計の前年比は、前年のブルーレイ(HD DVDを含む)とUMDを加算した合計値と比較して求めている。

2008年(1月~12月)の実績について

1. 2008年のビデオソフトの総売上は286億9800万円で前年比88.9%となった。2004年の3753億9300万円をピークに前年割れが続いている(グラフ1.)。

2. ビデオソフトの総売上金額のうち96.4%をDVDビデオが占め、ブルーレイ(HD DVDを含む)の売上は3.4%となった。ビデオカセットとUMDの売上の割合はそれぞれ0.1%ずつとなっている(表2.)。

3. DVDビデオの売上金額は2757億2700万円で前年比86.9%、2004年に3000億円を超えてから5年ぶりに3000億円台を切る事となった。

DVDビデオの売上は「販売用」市場の構成比が高く、本年も63.6%を占めたが、1753億5600万円と前年比83.9%に留まった。販売用市場が2000億円台を切ったのは2003年以降はじめてのことで、最も売上の高かった2005年の2621億7900万円に比べて約3割の減少となった(グラフ2.)。

「レンタル店用」はDVDビデオの売上金額のうち35.9%を占めるが、989億3400万円で前年比92.8%、2006年、2007年と続いた1000億円台を切る事となり、レンタル店におけるDVDビデオの在庫整備もほぼ完了し

てきたことを窺わせる(グラフ4.)。

4. DVDビデオの「販売用」売上金額をジャンル別にみると、好調だったジャンルは『音楽(邦楽)』で、前年比117.8%と二桁の伸びとなった。また『日本のTVドラマ』も同110.4%だった。昨今伸長の目立っていた『海外のTVドラマ+アジアのTVドラマ』は前年比100.5%とほぼ前年並みだった。一方、その他では前年を割り込むジャンルが多く、『日本のアニメーション(一般向け)』は同81.2%、『洋画+アジアの映画』も同60.6%と大きく割りこんだほか、『邦画』同80.2%、『芸能・趣味・教養』も同79.9%となった。中でも『洋画+アジアの映画』は過去最高の売上となった2004年の売上金額の約3割程度まで落ち込んでいる。洋画のキャンペーン(2枚買ったなら3枚目がタダ...等といった販促キャンペーン)等旧作の拡販が盛んに行われていた頃に比べると、旧作の売上がアタマ打ちになってきたことに加え、新作のビッグヒットタイトル数の減少が大きく影響したなどが考えられる。売上金額のシェアでは、『日本のアニメーション(一般向け)』が27.0%と一番の構成比を占めており、2006年以降3年連続で不動の位置となっている。また、好調だった

表2.ビデオソフトの売上

摘要	百万円				本・枚			
	合計金額	回答社数	構成比	前年比	合計数量	回答社数	構成比	前年比
D V D ビ デ オ	275,727	33/33社	96.4%	86.9%	83,598,098	34/34社	97.0%	86.3%
ビデオカセット	258	20/15社	0.1%	33.2%	72,253	22/20社	0.1%	21.4%
ブルーレイ(HD DVD含)	9,860	19/26社	3.4%	301.5%	2,302,235	21/27社	2.7%	223.0%
U M D	253	7/8社	0.1%	59.1%	202,944	15/15社	0.2%	64.4%
ソフトの総売上	286,098	34/33社	100.0%	88.9%	86,175,530	34/34社	100.0%	87.5%

注) 回答社数: 有効回答社数を指す(以下同様) 回答社数の左辺は上半期の回答社数、右辺は下半期の回答社数

表3.DVDビデオの流通チャンネル別売上

	百万円			枚		
	DVDビデオの売上金額			DVDビデオの売上数量		
	金額	構成比	前年比	数量	構成比	前年比
販売用(個人向)	175,356	63.6%	83.9%	53,554,889	64.1%	80.1%
レンタル店用(個人向)	98,934	35.9%	92.8%	29,127,854	34.8%	111.2%
業務用	1,437	0.5%	86.5%	915,355	1.1%	24.1%

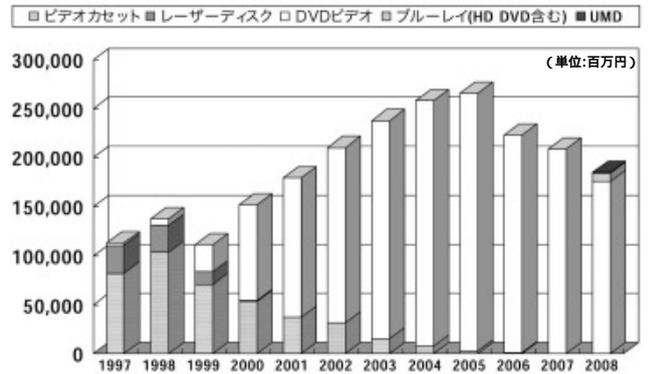
表4.ブルーレイ(HD DVD含)の流通チャンネル別売上

	百万円			枚		
	ブルーレイ(HD DVD含)の売上金額			ブルーレイ(HD DVD含)の売上数量		
	金額	構成比	前年比	数量	構成比	前年比
販売用(個人向)	9,097	92.3%	307.5%	1,978,041	85.9%	260.8%
レンタル店用(個人向)	762	7.7%	76200.0%	323,779	14.1%	107926.3%
業務用	1	0.0%	0.3%	415	0.0%	0.2%

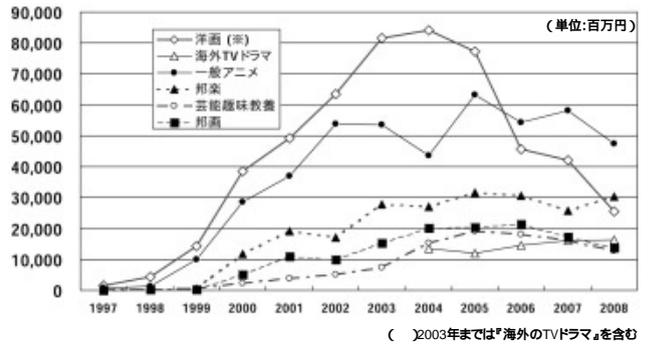
た『音楽(邦楽)』が今回初めて構成比2位となり(17.3%)、
『洋画+アジアの映画』は構成比3位(14.6%)に下がっている(表5. グラフ3.)。

5. DVDビデオの「レンタル店用」売上金額をジャンル別に見てみると、売上構成比の1位は『洋画+アジアの映画』で27.9%を占めているが、前年比は86.8%と2年連続で前年割れとなっている。これに対し、『海外のTVドラマ+アジアのTVドラマ』が前年比120.2%と好調が続き、構成比26.1%と『洋画+アジアの映画』に迫る勢いとなっており、依然レンタル店での人気の高さを示している。ちなみに『海外のTVドラマ』と『アジアのTVドラマ』の構成を分けてみると、16.1%と10.0%となっている。その他『日本のアニメーション(一般向け)』は前年比83.5%となり、『海外のTVドラマ+アジアのTVドラマ』に抜かれ構成比3位となった他、構成比4位(12.6%)の『邦画』も同79.1%と奮わなかった。『日本のTVドラマ』は僅かながらも年々売上が増加しており、本年も前年比107.7%、構成比7.1%と伸長している(表5. グラフ5.)。

グラフ2. 「販売用」売上金額の推移(メディア別)



グラフ3. DVD「販売用」ジャンル別売上金額推移



() 2003年までは『海外のTVドラマ』を含む

表5. DVDビデオ ジャンル別売上金額

百万円

ジャンル	販売用	構成比	前年比	レンタル店用	構成比	前年比
邦画(TVドラマを除く)	13,888	7.9%	80.2%	12,443	12.6%	79.1%
日本のTVドラマ	12,687	7.2%	110.4%	6,981	7.1%	107.7%
洋画(TVドラマを除く)	24,795	14.1%	58.9%	26,768	27.1%	84.3%
海外のTVドラマ	8,161	4.7%	50.6%	15,896	16.1%	74.1%
アジアの映画	728	0.4%	ERR	785	0.8%	ERR
アジアのTVドラマ	8,062	4.6%	ERR	9,882	10.0%	ERR
日本のアニメーション(一般向け)	47,298	27.0%	81.2%	17,982	18.2%	83.5%
海外のアニメーション(一般向け)	2,050	1.2%	60.1%	1,515	1.5%	72.8%
日本の子供向け(アニメーション)	3,726	2.1%	74.1%	3,757	3.8%	89.0%
日本の子供向け(アニメーション以外)	3,976	2.3%	84.0%	1,077	1.1%	78.6%
海外の子供向け(アニメーション)	1,503	0.9%	125.8%	459	0.5%	137.8%
海外の子供向け(アニメーション以外)	139	0.1%	44.1%	27	0.0%	34.2%
音楽(邦楽)	30,337	17.3%	117.8%	4	0.0%	13.8%
音楽(洋楽)	2,632	1.5%	62.1%	7	0.0%	50.0%
ビデオカラオケ	41	0.0%	205.0%	0	0.0%	ERR
芸能・趣味・教養	12,743	7.3%	79.9%	1,056	1.1%	90.6%
ゲーム	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	ERR
スポーツ	895	0.5%	81.0%	9	0.0%	9.9%
学校教育・企業教育・語学教育	182	0.1%	131.9%	5	0.0%	50.0%
成人娯楽	17	0.0%	7.4%	5	0.0%	250.0%
その他	1,496	0.9%	95.9%	276	0.3%	91.7%
計	175,356	100.0%	83.9%	98,934	100.0%	92.8%

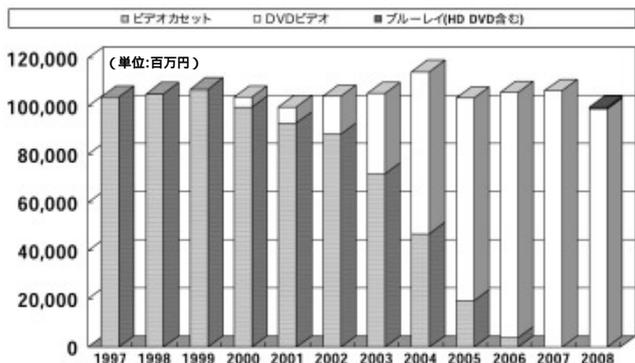
(参考: a部分をこれまでのジャンル分けに集計しなおし、前年と比較した場合)

参考	販売用	構成比	前年比	レンタル店用	構成比	前年比
洋画+アジアの映画	25,523	14.6%	60.6%	27,553	27.9%	86.8%
海外+アジアのTVドラマ	16,223	9.3%	100.5%	25,778	26.1%	120.2%

6. ブルーレイ(HD DVDを含む)の売上金額は98億6000万円で、前年比301.5%と大きく伸長した(表2.)。下半期調査の段階で、回答社34社のうち27社からブルーレイの売上報告があった。ブルーレイ(HD DVDを含む)全体の売上のうち92.3%が「販売用」の売上であったが、「レンタル店用」の売上報告のあった社も8社あり、7.7%の売上構成比となった(表4.)。「販売用」の売

上構成をジャンル別に見てみると、48.0%が『日本のアニメーション(一般向け)』、43.7%が『洋画』であり、まだ他のジャンルに大きな動きはない(表6.)。一方、「レンタル店用」においても売上金額の79.7%が『洋画』に占められ、『日本のアニメーション(一般向け)』が11.4%であり、8社の参入はあるもののジャンルの広がりは見られず、本格的な市場導入とは言いがたい(表6.)

グラフ4.「レンタル店用」売上金額の推移(メディア別)



グラフ5.DVD「レンタル店用」ジャンル別売上金額推移

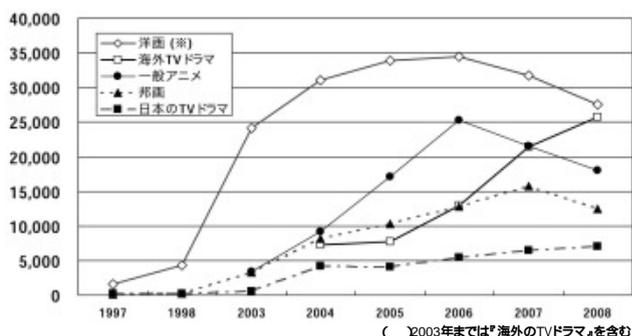


表6.ブルーレイ(HD DVDを含む) ジャンル別売上金額

百万円

ジャンル	販売用	構成比	前年比	レンタル店用	構成比	前年比
邦画(TVドラマを除く)	101	1.1%	10100.0%	6	0.8%	ERR
日本のTVドラマ	21	0.2%	700.0%	0	0.0%	ERR
洋画(TVドラマを除く)	3,978	43.7%	184.8%	607	79.7%	ERR
海外のTVドラマ	34	0.4%	425.0%	17	2.2%	ERR
アジアの映画	10	0.1%	ERR	5	0.7%	ERR
アジアのTVドラマ	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
日本のアニメーション(一般向け)	4,367	48.0%	839.8%	87	11.4%	8700.0%
海外のアニメーション(一般向け)	196	2.2%	139.0%	40	5.3%	ERR
日本の子供向け(アニメーション)	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
日本の子供向け(アニメーション以外)	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
海外の子供向け(アニメーション)	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
海外の子供向け(アニメーション以外)	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
音楽(邦楽)	180	2.0%	246.6%	0	0.0%	ERR
音楽(洋楽)	7	0.1%	63.6%	0	0.0%	ERR
ビデオカラオケ	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
芸能・趣味・教養	201	2.2%	490.2%	0	0.0%	ERR
ゲーム	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
スポーツ	2	0.0%	28.6%	0	0.0%	ERR
学校教育・企業教育・語学教育	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
成人娯楽	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
その他	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
計	9,097	100.0%	307.5%	762	100.0%	76200.0%

本調査報告についての注意点

調査数字について

1. 本報告の数字は、JVA加盟の正会員社による出荷段階の売上をまとめた統計である。
2. 2008年より、ブルーレイ(HD DVDを含む)とUMDの実績を追加している。
3. ビデオソフトの総計について前年比の比較で使用した前年の数字は、「アジアの映画」を含んでいる。
4. 返品分は金額、数量とも調査時点において差し引かれている。
5. マイナス計上となった場合、前年比はERR(エラー)とし、構成比はマイナス分を除いて計算している。

ジャンルについて

1. 2008年より、ジャンル別に「アジアの映画」「アジアのTVドラマ」を新たに追加している。アジアとは、韓国、中国、香港、台湾を指す。「洋画(TVドラマを除く)」の前年比の比較で使用した前年の数字は、「アジアの映画」を含んでいる。
2. 「海外のTVドラマ」の前年比の比較で使用した前年の数字は、「アジアのTVドラマ」を含んでいる。
3. 「日本の子供向け(アニメーション)」などにある「子供向け」とは、目安として10歳以下の子供を対象とした作品を指す。

『ショップコンテスト2008』結果発表と表彰式について

マーケティング委員会キャンペーン小委員会では、今回で13回目となるレンタル推進全国共同キャンペーン「JVAショップコンテスト」の受賞店結果を2月4日に発表した。協賛いただいた日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合（CDV-J）様から、組合員のショップの皆様へ積極的に応募を呼びかけていただいたおかげもあり、応募数は昨年の392店から523店に大幅アップ。例年

以上の激戦となったが、厳正なる審査の結果、昨年を上回る75店が受賞された。

また同日、「ホテル西洋銀座」において受賞店全店を招いての表彰式を開催し、過去最高の50店舗からご出席を賜り、大いに盛り上がりを見せた。

入賞内訳は、ディスプレイ部門34店、コメント部門が10店、コーナー展開部門が26店。また応募総数をエリア毎に分けてみると、北海道4店、東北12店、関東243店、中部59店、関西四国53店、中国66店、九州沖縄86店と、昨年と比べて関東が倍以上に増えた。受賞店の応募作品は次のURLでみる事が出来る。

http://www.jva-net.or.jp/contest/prizewinner_list.html

グランプリ受賞のチャーリーブラウン未広店竹瀬店長(中央)と
気賀営業部長(右)、大田キャンペーン委員長(左)



最優秀大賞、各部門最優秀賞、CDV-J特別賞受賞の皆さん



受賞店の応募作に見入る参加者の皆さん



桐畑副会長の発声で懇親会の開幕!



最優秀大賞(グランプリ)

★ チャーリーブラウン未広店

「僕の彼女はサイボーグ」のリリース時期に合わせて、女性向けに旧作をアピールしたいと考え、「あなたはこんな女の子診断(チャート)」を制作しました。このディスプレイの完成によって、より一層スタッフの団結力が高まりました。
(店長 竹瀬晃弘さん談)



CDV - J特別賞

★ ライベックス川崎店

私がホラー映画好きだったということもありますが、ハロウィンの時期にはぴったりだと思いまして「ハロウィン血祭り」コーナーを制作しました。マニアにはもちろんのこと、入門者にも楽しんでいただけるよう、コメントや構成を考えるのに苦労しました。
(店長(現在は藤沢店店長) 大島 英さん談)



ディスプレイ部門最優秀賞

★ TSUTAYA江戸川中央店

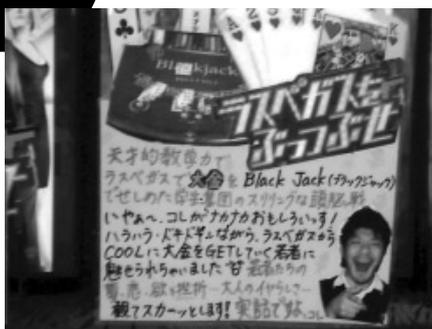
クローバーフィールドの世界観を出そうと、首が落ちた自由の女神像と燃えさかるニューヨークの町を制作しました。女神像は段ボールに布を巻いただけですが、隣の板金工場で塗装したので、かなりリアルになりました。女神像の顔は、夜は見たくないほど表情豊かです。
(店長 星野秀康さん談)



コメント部門最優秀賞

★ シャトル大津店

コメント内容は、お客様にわかりやすく、そして正確に。派手ではないが、ユーモアを交えて読ませることに徹底。作品によっては、1つの作品に3人のスタッフのコメントを付け、男性・女性の視点の違いや作品に対する評価の違いなど、たくさんの情報を掲載しています。
(応募用紙 コメント欄より)



コーナー展開部門最優秀賞

★ フタバ図書ソフトピア宇品店

イケメン王子ドラマコーナーは女性へのアピールを意識しました。また若手女優ランキングでは、「へえ、こんな作品にも出演しているんだ」という発見を煽って、旧作への興味をもってもらうよう展開しました。どちらもお客様の反応は非常によかったです。
(スタッフ 笹間康明さん談)



『JVA ショップコンテスト2008』受賞店

賞	店舗名	住所	法人名
最優秀大賞	チャーリーブラウン末広店	徳島県徳島市	(株)神栄
ディスプレイ部門最優秀賞	トヨタ東京カローラ(株)TSUTAYA江戸川中央店	東京都江戸川区	(株)トヨタ東京カローラ
コメント部門最優秀賞	シャトル大津店	滋賀県大津市	(有)シャトル大津
コーナー展開部門最優秀賞	(株)フタバ図書ソフトピア宇品店	広島県広島市	(株)フタバ図書
CDV-J特別賞	ライベックス川崎店	神奈川県川崎市	(株)スピリッツ
ディスプレイ部門優秀賞	TSUTAYA新琴似店	北海道札幌市	北海道サービス(株)
	ビデオプラザ カルチャー城東店	青森県弘前市	(株)カルチャー
	ビデオサテライト上田店(盛岡店)	岩手県盛岡市	(株)サテライト
	(株)岩瀬書店 八木田店プラスゲオ	福島県福島市	(株)岩瀬書店
	(株)岩瀬書店 富久山店プラスゲオ	福島県郡山市	(株)岩瀬書店
	ブックエース見和店	茨城県水戸市	(株)ブックエース
	ワンダーゲ-常陸大宮店	茨城県常陸大宮市	(株)ワンダーコーポレーション
	Big Benつくば店	茨城県つくば市	(株)ライズ
	WAM東大宮	埼玉県さいたま市	(株)トップ・ロードインターナショナル
	(株)フタバ図書 ソフトピアGIGA大宮店	埼玉県さいたま市	(株)フタバ図書
	WAM坂戸	埼玉県坂戸市	(株)トップ・ロードインターナショナル
	新宿TSUTAYA	東京都新宿区	(株)TSUTAYA STORES
	メディアパーク十条駅前店	東京都北区	お茶の水商事(株)
	(株)ドラマ 東大和店	東京都東大和市	(株)ドラマ
	HOLLYWOOD VIDEO YOKOHAMA	神奈川県横浜市	(株)ロイ電器
	TSUTAYA元住吉店	神奈川県川崎市	(株)TSUTAYA STORES
	メディアパワー-駅なん店	新潟県新潟市	(株)ビック
	ビデオレンタルフォーナイン	新潟県新潟市	個人経営
	ビデオセラー-三方原店	静岡県浜松市	(株)セラーコーポレーション
	U.S.V 津島店	愛知県津島市	個人経営
	(株)カジ-コーポレーションUSV港店	愛知県名古屋市中区	(株)カジ-コーポレーション
	TSUTAYA九条店	大阪府大阪市	(株)コスモ
	ドリーム	大阪府貝塚市	(株)カメラア
	Superラックス権原店	奈良県権原市	(株)ラックス
	メディア21玉島店(株)映クラ	岡山県倉敷市	映クラ(株)
	レンタルビデオ ボバイ白島店	広島県広島市	(株)よしみつ
	ボバイ中山店	広島県広島市	(株)よしみつ
	じげむ山の田店	山口県下関市	(株)あきら
	メディアストア アイデア	福岡県北九州市	(有)インタープラン
	ビデオアメリカ筑後店	福岡県筑後市	(株)アベックス
	ビデオ サンタナ大川店	福岡県大川市	(株)サンタナ
	レンタルビデオボバイ大橋店	福岡県福岡市	(株)よしみつ
	メディアジャングル大竜店	鹿児島県鹿児島市	(株)岩崎産業
(有)ブックス豊後 はさま店	大分県由布市	(有)ブックス豊後	
ロムハウス大田店	神奈川県横浜市	(株)スピリッツ	
ビデオ合衆国USV笠寺店	愛知県名古屋市中区	(株)カジ-コーポレーション	
USV堀田書店	愛知県名古屋市中区	(株)カジ-コーポレーション	
(株)大垣書店ナムコワンダーシティ店プラスゲオ	京都府向日市	(株)大垣書店	
アリオン皆生店	鳥取県米子市	(株)アリオン	
TSUTAYA安芸府中店	広島県安芸郡	スターワークス(有)	
ビデオアメリカ原田店	福岡県福岡市	(株)アベックス	
ビデオアメリカ十二軒屋店	福岡県久留米市	(株)ジャンル興産	
アイドル佐世保日野店	長崎県佐世保市	(株)ジャンル興産	
(有)ブックス豊後 坂ノ市店	大分県大分市	(有)ブックス豊後	
ビデオサテライト都南店	岩手県盛岡市	(株)サテライト	
Big Ben勝田店	茨城県ひたちなか市	(株)ショット	
文真堂書店 榊名町店	群馬県高崎市	(株)文真堂書店	
ファミリーブック 新里店	群馬県桐生市	(株)ファミリーブック	
ファミリーブック 内ヶ島店	群馬県太田市	(株)ファミリーブック	
ファミリーブック 藤岡店	群馬県藤岡市	(株)ファミリーブック	
ファミリーブック 柳原店	群馬県伊勢崎市	(株)ファミリーブック	
ファミリーブック 渋川店	群馬県渋川市	(株)ファミリーブック	
ファミリーブック 東川口店	埼玉県川口市	(株)ファミリーブック	
ロフトタック所沢店	埼玉県所沢市	(株)タック大宮	
ファミリーブック ふじみ野店	埼玉県ふじみ野市	(株)ファミリーブック	
メディアパーク新松戸店	千葉県松戸市	お茶の水商事(株)	
リパティ-ビ-ブル西新宿	東京都新宿区	(株)リパティ-ビ-ブル	
ファミリーブック 上溝店	神奈川県相模原市	(株)ファミリーブック	
TSUTAYA袋井国本店	静岡県袋井市	(株)シラトリテクノ	
USV 小牧店	愛知県小牧市	(株)カジ-コーポレーション	
USV -宮店	愛知県一宮市	(株)カジ-コーポレーション	
アルタ瀬戸店	愛知県瀬戸市	(株)アルタ	
フリーダム岸和田店	大阪府岸和田市	新川商事(株)	
PEOPLE HALL 北堀江店	大阪府大阪市	(株)大-コーポレーション	
ラックス奈良柏木店	奈良県奈良市	(株)ラックス	
チャプターワン生駒店	奈良県生駒市	(株)チャプターワン	
(株)フタバ図書ソフトピア沼田店	広島県広島市	(株)フタバ図書	
アリオン斐川店	島根県斐川郡	(株)アリオン	
平惣 羽ノ浦店	徳島県小松市	(株)平惣	
(株)フタバ図書 ソフトピアGIGA春日店	福岡県春日市	(株)フタバ図書	

(法人名等は応募当時)

文化庁の意見募集に対し意見を提出 “ブルーレイの私的録画補償金の対象機器指定は当然”

文化庁は、2月3日から3月4日の期間、著作権法施行令の一部を改正する政令案に関する意見募集を実施した。著作権法30条2項は、私的録音録画について複製権を制限する代償として、政令で指定するデジタル録音録画機器・記録媒体（以下「特定機器等」という。）に補償金を賦課する私的録音録画補償金制度を設けている。今回の政令案は、ブルーレイを特定機器等に指定するというものである。

昨年6月、経済産業大臣と文部科学大臣とがブルーレイを特定機器等に指定することが合意した旨公表された（以下「本大臣合意」という。）。今回の政令案はそれから7ヶ月を経過してようやく意見募集されたものである。

社団法人電子情報技術産業協会（以下「JEITA」という。）は、2月13日付でこの意見募集に対して提出した意見を同協会のホームページに公表した。ここでは、「アナログチューナーを搭載しておりアナログ放送のデジタル録画が可能であることを踏まえ、暫定的な措置として」特定機器等に政令指定するのが本大臣合意の趣旨であるとして、以下の3点を主張して本政令案に反対を表明している。

(1)無料デジタル放送の録画に課金されないことの明確化、(2)失効規定追加等、暫定的措置であることの明確化、(3)レーザー波長及びレンズ開口数の記載

JEITAの提出意見の公表により、本政令案についての論点が提示されたことから、当協会は、本政令案に関する意見募集に対しこれらの論点を含む意見を3月4日に提出した。提出した意見は当協会のホームページに掲載しているが、その要旨は以下のとおり。

1.ブルーレイは、私的録画に通常供されるデジタル録画機器及び記録媒体であるから、特定機器等に政令指定することは当然である。

2.「ダビング10」は私的録画の総量を減少させる著作権保護技術ではなく、複製権制限の代償措置の必要性を消滅させる根拠とはならない。

3.著作権保護技術のうち技術的保護手段に該当しない技術は複製権制限の代償措置の必要性を消滅させる根拠とはならない。

4.著作権法30条2項は、録画源を無料デジタル放送とする場合を除外していないから、これを除外する合意がない以上、課金されないことの明確化や失効規定を設けることは妥当ではない。

5.レーザー波長やレンズ開口数は、記憶容量の大きさに関わる要素にすぎず、特定機器等に指定するか否かの判断要素ではないから、政令に定める必要はない。

JEITAは、従来から著作権保護技術が用いられ

ている場合は補償の必要性が無いと主張していた。その根拠は、(1)技術的保護手段に該当する著作権保護技術を回避して複製することは著作権侵害に該当すること、(2)著作権保護技術が用いられている場合は、どのように利用されるか想定可能であるから損失が観念できないこと、を挙げている^(*)。

今回の政令案に対する意見は「ダビング10」という著作権保護技術が用いられている無料デジタル放送を録画源とする私的録画は補償の必要性が無いとの独自の見解に基づいて、アナログチューナーを搭載しない機器は特定機器に指定すべきではないと主張するものである。

しかし、著作権保護技術には技術的保護手段に該当する技術と該当しない技術とがあるのだから、回避して複製することが著作権侵害に該当するとの理由は、技術的保護手段以外の著作権保護技術については妥当しない。「ダビング10」はDVDビデオに用いられているCSSと同種の暗号化技術であるCPRMが用いられている。CSSが技術的保護手段に位置付けられない限り、「ダビング10」を破る複製が著作権侵害に該当する保証はないのである。

また、現行私的録画補償金制度は、複製権制限の代償措置であるから、補償の必要性は複製権が制限されているかどうかによるのであって、損失を観念できるかどうかではない。

「ダビング10」の複製回数制限は、「善意の利用者が家庭の中で普通にコンテンツを楽しむことを妨げるのはできるだけ避けたほうが良いのではないかという意見」「技術の進展に伴い、映像、音楽を収めたポータブルデバイス、あるいは携帯電話などの登場で、コンテンツを楽しむライフスタイルが変化、多様化しているという現状を認識すべきだという意見」を考慮して決められた^(*)のだから、私的録画の総量を減少させる技術ではない。私的録画の総量に影響しない技術を理由に補償の必要性を否定しようというのは根拠がない。

著作権保護技術と補償の必要性との関係は、著作権保護技術が私的録画に及ぼす実際の効果に基づいて論じるべきである。

(*)社団法人電子情報技術産業協会「私的録音録画小委員会中間整理に関する意見」「第3節 補償の必要性について」

(*)情報通信審議会情報通信政策部会デジタル・コンテンツの流通の促進等に関する検討委員会第19回議事録4頁

著作権法改正案が衆議院へ 『違法複製物のダウンロードは違法』を明確化

3月10日に著作権法の一部を改正する法律案が閣議決定され、同日衆議院に提出された。その主な内容は以下のとおり。

1. 違法な著作物の流通を抑止するための措置
 - (1) 私的使用目的の違法複製物のダウンロードのうちデジタル録音録画を30条の権利制限から除外する。
 - (2) 海賊版と承知の上での頒布の申出を権利侵害とみなす。
2. 著作物利用の円滑化
 - (1) 情報検索サービスのための複製についての権利制限
 - (2) 権利者不明の場合の裁定制度の改正
 - (3) 国立国会図書館における資料のデジタル化についての複製権制限
3. 障害者のための著作物利用の円滑化
 - (1) 視覚障害者等のための複製等に関する権利制限
 - (2) 聴覚障害者等のための複製等に関する権利制限
4. その他

当協会も要望していた違法複製物からの複製を30条の権利制限から除外することは、30条1項に3号を新

設することとなっている。ただし、著作権を侵害する自動公衆送信を受信して行う録音録画行為に限定され、かつ、記録方式もデジタル方式に限定された。

また、権利制限よりルールづくりを要望していた聴覚障害者等のための複製権等の権利制限については、著作権者等が必要な方式による公衆への提供又は提示が行われている場合には権利制限規定が適用されないとされたほか、38条5項による頒布権制限の手立ても講じられた。

国立国会図書館のデジタルアーカイブ化のための複製権制限については、「原本を公衆の利用に供することによるその滅失、損傷又は汚損を避けるため、当該原本に代えて公衆の利用に供するための電磁的記録を作成する場合」であること及び「必要と認められる限度」であることに限定された。しかし、当協会が要望した映像資料の除外は容れられなかった。

DVDビデオやブルーレイ等は、複製制御のための著作権保護技術が用いられている。また、著作権者の許諾を得て日本語字幕を提供することも始まっている。ルールづくりより権利制限のほうがより良く目的を達成できるのか疑問が残るところである。

BBマルチメディア委員会

BBマルチメディア委員会活動報告

BBマルチメディア委員会では、2月6日(金)に株式会社KDDI研究所(埼玉県ふじみ野市)の見学会を実施した。KDDI研究所では、モバイル・ワイヤレスやIPネットワーク、光ネットワークなどの通信技術はいうまでもなく、デジタルシネマや自由視点映像の圧縮伝送から映像の検索、インターフェースなどのマルチメディア関連技術やコンテンツ保護等のセキュリティ技術の研究も行っている。

今回の見学会では、それらの多くの研究成果の中から特に、映像関連技術を中心とする下の技術についてデモンストレーションを拝見しながらお話をうかがった。

1.映像推薦技術、2.プロ・アマ自動判別技術、3.HDTV画質評価ソフトウェア、4.MP-Factory Ver.5など

見学会終了後には、KDDI(株)コンシューマ事業統括本部コンテンツ・メディア本部メディア企画部部長中島康之氏も加わり、研究所研究員の方々と活発な意見交換を行うことができ、有意義な時間を持つことができた。

見学会には委員等15名が参加した。

不正商品対策協議会

不正商品対策協議会(ACA)定時総会開催報告

不正商品対策協議会の第24期(平成21年度)定時総会は、3月23日(月)午後5時より、銀座東武ホテルにおいて開催され、下記の議案について承認された。

- (1) 2008年度事業報告及び2008年度決算報告承認の件
- (2) 役員改選の件(敬称略)

代表幹事	高井英幸(日本映像ソフト協会会長)
副代表幹事	飯山恭高(日本国際映画著作権協会代表取締役)
副代表幹事	石坂敬一(日本レコード協会会長)
幹事	加藤 衛(日本音楽著作権協会理事長)
幹事	入江雄三(日本商品化権協会理事)
幹事	Jハーディー(ビジネス・ソフト・アライアンス副会長兼 アジア太平洋地域責任者)
幹事	R デュボア(ユニオン・デ・ファブリカン代表理事)
監事	遠山友寛(弁護士)
監事	前田哲男(弁護士)
- (3) 2009年度事業計画及び2009年度収支予算承認の件
- (4) 協賛会員入会の件

なお、2009年4月より、正会員として社団法人日本映画製作者連盟、協賛会員として日本弁理士会が入会した。

第280、281回定例理事会開催報告

第280回定例理事会は、2月3日(火)午後2時00分より協会会議室において開催された。議事の要旨は次の通り。

- 第1号議案 2009年度事業計画書(案)承認の件
・・・承認
- 第2号議案 出向者人事承認の件・・・承認
(新)業務部長 関口 裕之
(旧) 中井 暁
- 第3号議案 正会員入会の件・・・承認
(入会)TCエンタテインメント(株)
- 第4号議案 NPO法人JAVCOMNo.125セミナーに対する後援名義使用承認の件・・・承認

その他、事務局からの報告事項は次の通り。
各分会報告について、2009年新年賀詞交歓会開催結果について、2008年11月度ビデオソフト売上速報について、2008年12月度ビデオソフト売上速報について、DVDハー

ド出荷実績について、ブルーレイ政令指定に関する意見募集について等。

第281回定例理事会は、3月3日(火)午後2時00分より協会会議室において開催された。議事の要旨は次の通り。

- 第1号議案 2009年度収支報告書(案)承認の件・・・承認
- 第2号議案 「2009年度音楽著作権管理者養成講座」に対する後援名義使用承認の件・・・承認
- 第3号議案 特定サービス産業動態統計調査について
(お願い)の件・・・承認

その他、事務局からの報告事項は次の通り。
各分会報告について、2008年統計調査報告書について、2009年1月度ビデオソフト売上速報について、DVDハード出荷実績について、WTO・米国の対中国提訴に関するパネル報告(結果)について等。

違法対策部会 ANTI-PIRACY

2008年11月～2009年2月度までの活動実績

2008年11月～2009年2月までの期間は、静岡県、東京都、和歌山県、岐阜県、愛知県、福岡県、鹿児島県、新潟県、神奈川県、大阪府、奈良県、兵庫県、埼玉県、栃木県、熊本県、佐賀県、広島県、鳥取県、石川県、秋田県、青森県のビデオレンタル店349店の調査・折衝を実施した。

調査結果は、廃業等231店を除く実質営業の118店中、セル用DVDのレンタル転用38件、セル用VCのレンタル転用1件の違法行為が確認された(違法行為確認率33%)。これまでの調査において違法行為(セル用商品のレンタル転用)が確認されていた店舗18店につき再度調査を行ったが、正常化が確認されたのはわずか5店舗のみで、13店舗は変わらずセル用商品をレンタルに利用しており、正常化の難しさを感じさせる結果となった。中には、本年中に6回も注意、警告を行っているにもかかわらず依然違法行為を続けている店もあった。

なお、韓国人相手に海賊版VHSを販売していたとされる韓国雑貨・食品・ビデオ販売店2店が10月と11月に神奈川県伊勢佐木警察署に摘発されている。また北海道札幌方面豊平警察署は海賊版DVDを所持していたビデオレンタル店を摘発し、海賊版DVD6,000枚を押収している。

2008年11月～2009年2月実績

調査店	349店
営業店数	118店
違法行為 確認件数	海賊版所持 0件 セル用商品のレンタル転用 39件
海賊版確認数	0
刑事告訴事件数	3件
警察による海賊版押収本枚数	DVD 6000枚 VHS 900本
違法行為確認率	33%
廃業率	66%

調査状況一覧表

調査地区	内 訳			海賊版・サンプル版頒布所持			セルDVDの レンタル転用	セルVHSの レンタル転用
	許諾店	無許諾	廃業等	許諾店	確認数	回収数		
静岡県	10	3	7				3	
東京都	2		1				2	
和歌山県	4		8					
岐阜県	1							
愛知県	18	2	61				2	
福岡県	1	1					2	
鹿児島県	8	2	3				3	
新潟県	10	1	14				3	
神奈川県	18	3	89				5	
大阪府		1					1	
奈良県	8		6				4	
兵庫県	5						4	
埼玉県	6		27				2	
栃木県			6					
熊本県	1						1	
佐賀県	1						1	
広島県	1						1	
鳥取県	1							
石川県	1						1	1
秋田県	6	2	9				2	
青森県	1						1	
合 計	103	15	231	0	0	0	38	1

◆◆◆ 新入会員社 自社紹介 ◆◆◆

正会員(2009年2月3日付) TCエンタテインメント株式会社

弊社は、TBSが放送局として培ってきた制作力と、CCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ)のマーケティング・ノウハウを結集することにより、新たな事業展開の可能性を拓くために2005年夏に設立しました。

現在の事業内容は、DVD等パッケージソフトの販売・発売、映画等映像ソフトの製作です。なかでも、TVドラマ、バラエティ、スポーツ等さまざまなジャンルのTV番組と映画のDVDソフト販売が事業の核となっています。

2008年度は、ドラマ『ROOKIES』『魔王』、映画『花より男子ファイナル』『恋空』『チーム・バチスタの栄光』『クロサギ』『砂時計』を代表に、順調に歩を進めることができました。

まだ業界の新人ではありますが、『コンテンツ製作者』『流通事業者様』『エンドユーザー』を一番近い距離でつなぐ流通企画会社を目標として努力する所存であります。皆様のご指導とご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(代表取締役社長 仲尾雅至 氏)

会社プロフィール

代表者	仲尾雅至(代表取締役社長)
住所	東京都港区赤坂2-14-5 プラザミカドビル6F
URL	http://www.tc-ent.co.jp
設立	2005年8月
資本金	3億円
主な営業種目	映像ソフト、音楽ソフト、コンピュータ・ソフトウェアの企画・制作・複製、製造、販売、賃貸及び輸出入販売業務等
推薦会社	東宝(株) カルチュア・パブリッシャーズ(株)

JVA懇親ゴルフコンペ 開催のご案内

今年で第34回目となるJVA会員社による懇親ゴルフコンペを下の日程で開催いたします。既に各社へは総合連絡委員の皆様を通じてご案内済みですが、お申し込みがお済みでない方がいらっしゃいましたら、管理部肥田までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

日時 2009年4月17日(金)
場所 立野クラシック・ゴルフ倶楽部
千葉県市原市中高根1166
TEL 0436-95-1111
URL <http://www.heiwanosan.co.jp/tateno/>
ご連絡先 管理部 肥田まで
TEL 03-3542-4433

経済産業省からのお願い

特定サービス産業動態統計調査の月次調査にご協力を

経済産業省経済産業政策局調査統計部では、特定サービス産業の売上高等の経営動向を把握し、短期的な景気、雇用動向等の判断材料とするとともに産業構造政策、中小企業政策の推進及びサービス産業の健全な育成のための資料を得ることを目的として、1981年12月から月次調査をしています。ビデオソフト業界については、「映像情報制作・配給業」として昨年7月から調査が開始されました。しかしながら、調査開始から日が浅いこともあり回答率が低く、経済産業省同部より改めて調査への協力に関しお願いを頂戴しています。

月次調査の対象となっている会員社におかれましては、同調査へのご協力をお願いいたします。

異動

JVA事務局 人事異動

2009年2月1日付
関口 裕之 業務部事業部長 (株)ポニーキャニオンから出向
中井 暁 (株)ポニーキャニオンへ復職

警察庁 人事異動

2009年4月1日付
白川 靖浩 氏 警察庁生活安全局生活経済対策管理官
阿部 文彦 氏 警察庁生活安全局知的財産権保護対策官

リレーエッセイ 76



㈱東京現像所 代表取締役社長 風野健治氏からのご紹介

北出 継哉 氏 (株式会社IMAGICA 代表取締役社長)

「コーラスとサッカー三昧の日々」

小学校5年の時にクラスの担任が顧問をしていた少年合唱団に誘われて以来、中・高・大学そして社会人になってからもずっとコーラスを続けている。

大学の合唱団では学生指揮者をしたが、アルトのパートリーダーだった妻ともここで出会った。

今歌っている拠点は60人ほどの市民合唱団で、妻が練習指揮者。私はバリトンパートを歌っている。

自宅のある横浜・戸塚の合唱団では私が指揮者。25人ほどの混声合唱の指揮をかれこれ10年以上続けている。

「晋友会」と言うオーケストラとの共演を中心に活動する合唱団にも夫婦で参加しアマチュアにもかわらず、世界の名だたる指揮者、オーケストラと共演する機会に恵まれてきた。

シノーポリ/ドレスデン歌劇場管弦楽団、ジャン・フルネ/都響、シャルル・デュトワ/N響 などなど。中でも記憶に残っているのは、99年の年末から2000年の正月にかけて松本と上野の文化会館で5日間にわたって行われた小澤征爾/サイトウキネンオーケストラによるマーラー「復活」の連続演奏会。練習と本番で年末年始の休みが全て潰れたが、これほど充実した正月は無かった。

音楽の感動も素晴らしいが松本での演奏を終え、そのまま飛び乗った東京行きの電車で、小澤さんやオーケストラのメンバーが私達合唱団のいる車両に合流し、思わぬ交流会になった。写真を撮ったり、騒いだり、みんなで随分盛り上がったが、小澤さんは私がIMAGICAにいることを知った途端に、役者になったばかりの息子さん(小澤征悦さん)を心配する普通の父親になっていた。丁度「豚の報い」と言う息子さんの出演作を見たところだったので、とても良い演技と誉めたところ目を細くして素直に喜んでくれた。

昨年(08年)4月にはインバル・都響でマーラーの「千人の交響曲」を3日間、上野文化、川崎ミュージア、サントリーホールで暗譜で歌った。この年になると75分のドイツ語とラテン語の曲を覚えるのは一苦労だが、それだけにやりきった時の達成感はひとしおだ。

もう一つの趣味、サッカーは長男の小学校のチームを応援に行ったのがきっかけ。

子供の担任の先生に誘われ、素人であることを省みずコーチの真似事をするようになった。二人の息子達が卒業した後にも抜けられず、結局10年以上にわたって少年サッカーにのめり込むことになった。それ程、30代半ばからの10数年はサッカー三昧だった。

小学生の男の子は非常にデリケートで壊れやすい。が良いところを見つけて上手に誉めてやると、驚くほどのスピードで成長する。リフティングのチャンピオン、ヘディングのチャンピオン、インサイドキックのチャンピオン。子供の得意な

事を見つけて、随分いろんなチャンピオンを育てた。

当時の私がコーチとして心がけていた事は、

子供達の練習や試合での言動を良く観察し、一人ひとりの得意な事を見つけること。

えこひいきをせずに、みんなに平等にチャンスを与えること。

誉めるときは良いプレーをしたその瞬間に、本気で誉めること。本気でないおだてを子供は本能で見抜く。

叱るときは短く簡潔にし、叱った3倍誉めること。

子供相手だと思って適当な嘘をつかないこと。大人を相手にするように話すと、大人の対応をしてくれる。

このときの経験を大人相手に会社でも試してみたが、子供以上に効果があったように思う。

サッカーチームの子供達を相手に足掛け4年ほど、児童合唱団を指導した。妻が指導する女声コーラスの10周年コンサートのゲストとして編成したのがきっかけ。チームの3年から6年までの子供達100人程をグラウンドに集め「サッカーチームが強くなるためにはチームプレイが大事」「そのためには声を合わせてコーラスをするのが一番」「コーラスに参加したい人は手を挙げて!」とやったら約半数、50人程が手を挙げた。

この子供達を半年間、毎週土曜日のサッカーの練習後に歌わせた。元々動きまわるのが好きな男の子ばかりだから、コーラス練習でもじっとしている事は先ずない。でも、そこはサッカーボーイ。イエローカードとレッドカードを見せると瞬間的に凍りつく。カードと笛を駆使しつつ、うまく歌えたことを誉めると、みんな歌うことが大好きになる。音痴気味の子は音程の確かな大きな声の子供の間にサンドウィッチにし、周りの声を良く聞くようにさせると、ちゃんと歌えるようになる。半年で驚くほどに上達した。小学校高学年の男の子の声は、まさに天からの贈り物。天使の声だ。ソットヴォーチェと言う柔らかな響きでハモらせると、涙無しには聞けない美しさだ。演奏会ではお母さん達のコーラスを差し置いて、一番大きな拍手を貰い、6年生は卒業間近の最後のサッカー大会で(コーラス仕込のチームワークを発揮し)、見事に優勝を果たした。

この3月中旬の週末に次男の結婚披露宴があった。来賓の約半数が彼のサッカー仲間達。小学校以来、各年代のチームメイトたちが盛大に会を盛り上げてくれた。

妻の影響で長男は音楽の道を歩む事になったが、彼もトランペットのファンファーレで宴を盛り上げる。披露宴の大トリは妻と私のコーラス仲間による、「アヴェマリア」と「埴生の宿」。「埴生の宿」の2番は妻と私のソリ。(一人だとソロ。二人だとソリ。)親ばかり丸出しだが、息子夫婦を祝う気持ちが素直に出せたかなと。

ゴルフをする暇がなくなるのでサッカーコーチは数年前に卒業したが、コーラスはこの先も声の出る限り続けようと思う。

統計

2008年12月度

	12月実績 (金額単位: 百万円 数量単位: 千本・千枚)								1月～12月の累計									
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比	
販売用	20,853	70.8%	82.6%	6,195	70.3%	76.4%	729	72.0%	増減 12社 19社 その他1社	178,654	64.3%	85.2%	55,368	65.3%	82.4%	8,531	86.3%	
レンタル店用	8,437	28.6%	72.7%	2,504	28.4%	86.2%	707	102.8%		97,842	35.2%	91.9%	28,426	33.5%	109.4%	8,693	135.9%	
業務用	183	0.6%	176.0%	113	1.3%	55.1%	5	29.4%		1,478	0.5%	90.5%	980	1.2%	25.8%	162	395.1%	
DVDビデオ	29,473	91.8%	79.8%	8,812	94.6%	78.5%	1,441	83.9%	増減 0社 4社 その他4社	277,974	96.4%	87.5%	84,774	97.1%	87.4%	17,386	106.5%	
カセット	18	0.1%	48.6%	3	0.0%	57.6%	0	0.0%		167	0.1%	21.2%	71	0.1%	21.3%	32	22.7%	
ブルーレイ (HD DVD含)	2,598	8.1%	490.2%	475	5.1%	302.8%	160	340.4%		増減 10社 5社 その他9社	9,808	3.4%	299.8%	2,296	2.6%	221.8%	677	255.5%
UMD	28	0.1%	65.1%	24	0.3%	58.9%	3	300.0%	増減 0社 2社 その他1社		260	0.1%	61.5%	204	0.2%	64.8%	43	148.3%
合計	32,117	100.0%	85.5%	9,314	100.0%	81.5%	1,604	90.7%			288,209	100.0%	89.4%	87,346	100.0%	88.6%	18,138	108.2%

今月の売上報告社数.....34社 (前年同月の報告社数: 34社) 無回答社.....1社 売上金額の増減社数.....前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合 DVDビデオの新作数の「業務用」には不明分を含む。また「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。
累計値については、1月～6月の数値として2008年上半期調査の数字を用いている。
ビデオソフトの合計について、前年同月比、前年同期比に使用した数値は、当該期のブルーレイ、HDDVD、UMDの実績を加算したものをを用いている。

累計数字は1～12月の速報値の累計のため、2008年の統計報告Vol.67の確定値と誤差が生じている点に注意

2009年1月度

	1月実績 (金額単位: 百万円 数量単位: 千本・千枚)								1月～1月の累計									
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比	
販売用	12,508	59.3%	94.0%	3,410	56.8%	89.3%	471	75.2%	増減 13社 19社 その他1社	12,508	59.3%	94.0%	3,410	56.8%	89.3%	471	75.2%	
レンタル店用	8,558	40.6%	139.6%	2,597	43.3%	153.1%	554	76.9%		8,558	40.6%	139.6%	2,597	43.3%	153.1%	554	76.9%	
業務用	32	0.2%	66.7%	-7	ERR	ERR	25	32.1%		32	0.2%	66.7%	-7	ERR	ERR	25	32.1%	
DVDビデオ	21,098	93.9%	108.2%	6,000	95.0%	108.4%	1,050	73.7%	増減 1社 5社 その他2社	21,098	93.9%	108.2%	6,000	95.0%	108.4%	1,050	73.7%	
カセット	15	0.1%	88.2%	3	0.0%	57.1%	1	25.0%		15	0.1%	88.2%	3	0.0%	57.1%	1	25.0%	
ブルーレイ (HD DVD含)	1,339	6.0%	686.7%	299	4.7%	689.1%	49	257.9%		増減 9社 2社 その他11社	1,339	6.0%	686.7%	299	4.7%	689.1%	49	257.9%
UMD	18	0.1%	120.0%	14	0.2%	96.1%	2	ERR	増減 1社 2社 その他0社		18	0.1%	120.0%	14	0.2%	96.1%	2	ERR
合計	22,470	100.0%	114.0%	6,317	100.0%	112.9%	1,102	76.2%			22,470	100.0%	114.0%	6,317	100.0%	112.9%	1,102	76.2%

今月の売上報告社数.....34社 (前年同月の報告社数: 34社) 無回答社.....1社

2009年2月度

	2月実績 (金額単位: 百万円 数量単位: 千本・千枚)								1月～2月の累計									
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比	
販売用	10,807	59.8%	62.2%	3,252	58.2%	69.3%	618	80.5%	増減 6社 26社 その他2社	23,315	59.5%	75.9%	6,662	57.5%	78.3%	1,089	78.1%	
レンタル店用	7,173	39.7%	72.6%	2,250	40.3%	75.6%	582	116.4%		15,731	40.2%	98.3%	4,847	41.8%	103.7%	1,136	93.1%	
業務用	90	0.5%	169.8%	86	1.5%	330.9%	6	85.7%		122	0.3%	120.8%	80	0.7%	170.8%	31	36.5%	
DVDビデオ	18,070	93.4%	66.1%	5,588	94.4%	72.6%	1,206	94.6%	増減 2社 4社 その他3社	39,168	93.7%	83.7%	11,589	94.7%	87.6%	2,256	83.6%	
カセット	18	0.1%	75.0%	20	0.3%	779.6%	0	0.0%		33	0.1%	80.5%	24	0.2%	291.9%	1	12.5%	
ブルーレイ (HD DVD含)	1,249	6.5%	325.3%	304	5.1%	427.4%	106	407.7%		増減 10社 4社 その他9社	2,588	6.2%	447.0%	604	4.9%	526.5%	155	344.4%
UMD	8	0.0%	57.1%	7	0.1%	40.0%	2	100.0%	増減 1社 2社 その他0社		26	0.1%	89.7%	21	0.2%	66.4%	4	200.0%
合計	19,345	100.0%	69.7%	5,920	100.0%	76.0%	1,314	100.5%			41,815	100.0%	88.1%	12,237	100.0%	91.4%	2,416	87.7%

今月の売上報告社数.....35社 (前年同月の報告社数: 34社) 無回答社.....1社

日誌に見る協会の動き

【1月】

- 5日 仕事初め
- 8日 新年賀詞交歓会
- 13日 関西地区連絡協議会新年会
- 14日 中部地区連絡協議会新年会
- 15日 東北地区連絡協議会新年会
- 22日 九州地区連絡協議会新年会
- 23日 業務使用対策委員会
- 29日 業務部会幹事会
- 30日 ACA調査研究部会

【2月】

- 3日 理事会
- 4日 08JVAショップコンテスト表彰式
- 6日 BBマルチメディア委員会
- 9日 ACA企画広報部会
- 10日 総合連絡委員会
- 12日 業務使用対策委員会 権利者対応委員会
- 19日 著作権部会
- 24日 統計調査委員会
- 25日 マーケティング委員会米国市場視察小委員会
- 26日 業務部会幹事会

【3月】

- 3日 理事会
- 4日 動画投稿サイト対策会議
- 9日 ACA企画広報部会
- 10日 2008年統計調査記者発表

- 総合連絡委員会
- 権利者対応委員会
- 12日 東北地区連絡協議会(～13日)
- 中国地区連絡協議会(～13日)
- 13日 統計調査委員会
- 業務使用対策委員会
- 18日 ACA調査研究部会
- 消費者委員会
- 東京国際アニメフェア09(～21日)
- 19日 著作権部会
- 23日 映像倫理協議会運営委員会
- ACA定時総会
- 24日 動画投稿サイト対策会議
- 統計調査委員会
- 26日 業務部会幹事会

社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名(五十音順) 2009年4月1日現在

正会員(35社)

(株)アニプレックス
アミューズソフトエンタテインメント(株)
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
エイベックス・マーケティング(株)
(株)エスピーオー
(株)NHKエンタープライズ
角川映画(株)
(株)角川エンタテインメント
(株)角川書店
カルチュア・パブリッシャーズ(株)
(株)ギャガ・コミュニケーションズ
キングレコード(株)
ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同)
(株)小学館
(株)ショウゲート
松竹(株)
(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
(株)第一興商
TCエンタテインメント(株)
東映ビデオ(株)
東宝(株)
東宝東和(株)
(株)東北新社
20世紀フォックス
ホームエンターテイメントジャパン(株)
日活(株)
(株)バップ
(株)ハピネット
パラマウント ジャパン(株)
バンダイビジュアル(株)
ビクターエンタテインメント(株)
(株)ポニーキャニオン
(株)メディアファクトリー
ユニバーサルミュージック(同)
ワーナーエンターテイメントジャパン(株)

協賛会員(23社)

(株)アイ信
(株)一九堂印刷所
(株)IMAGICA
ヴィジヨネア(株)
(株)キュー・テック
(株)金羊社
KDDI(株)
(株)ケンメディア
(株)ジャパン・ディストリビューション
システム
(株)星光堂
ソニーPCL(株)
大日本印刷(株)
(株)東京現像所
東芝デジタルフロンティア(株)
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ
(株)トーハン
東洋レコーディング(株)
日本出版販売(株)
日本レコードセンター(株)
ビクタークリエイティブメディア(株)
(株)富士フィルムメディアクレスト
(株)ムービーマネジメントカンパニー
メモリーテック(株)